

8月28日(月)

12:30-15:00

8月28日(月)チュートリアルセミナーA【A会場】
統計的因果効果推定の入門と応用例

講師: 星野 崇宏 (慶應義塾大学)

15:30-18:00

8月28日(月)チュートリアルセミナーB【B会場】
やってみようテキストマイニング

講師: 牛澤 賢二 (株式会社 シード・プランニング)

8月29日(火)

10:00-12:00

8月29日(火)一般セッション(120分)【A会場】
教育

座長:

C21A-1 10:00~10:20

大学生の学習パフォーマンスはLMSログで予測できるか?
グラフ特徴量を用いた検討
三石 大(東北大学), ○大山 智也(東北大学)

C21A-2 10:20~10:40

学習者の能力の時系列変化を畳み込む Temporal Convolutional Network を
組み込んだ Deep-IRT
○堤 瑛美子(東京大学大学院情報理工学系研究科), 西尾 徹朗(ラクスル
株式会社), 植野 真臣(電気通信大学大学院情報理工学研究科)

C21A-3 10:40～11:00

設問文の内容を考慮して適応的に学習者の反応予測が可能な大規模言語モデルからの項目特性抽出
○江原 遥(東京学芸大学)

C21A-4 11:00～11:20

ニューラルネットワークのパラメタの主成分分析による事象関連電位を用いた十分学習済み脳状態の推定
○船田 眞里子(白鷗大学), 船田 忠(株式会社 藤掛商店)

C21A-5 11:20～11:40

事象関連電位の類似度による課題反復時の脳活動の変化
ー戦略別計算課題と正答率を用いてー
○渋川 美紀(白鷗大学), 船田 眞里子(白鷗大学)

C21A-6 11:40～12:00

診断分類モデルの変分ベイズ推定のための R パッケージ
土方 啓一郎, 岡 元紀, 山口 一大, ○岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

8 月 29 日(火) 特別セッション(120 分)【B 会場】

栄養摂取と消費者行動

オーガナイザー: 櫻井 宏明(学習院女子大学)

オーガナイザー, 司会者: 森 一将(千葉大学)

討論者: 井出野 尚(東京理科大学)

S21B-1

栄養プロファイル(Nutli-Score)の予測に影響を与える要因の分析: パーソナリティ特性を中心にして
○森 一将(千葉大学国際未来教育基幹), 浅川 雅美(文教大学), 櫻井 宏明(学習院女子大学)

S21B-2

大学生における主観的幸福感と食塩摂取の関係性

○大橋 洸太郎(文教大学情報学部), 森 一将(千葉大学国際未来教育基幹), 櫻井 宏明(学習院女子大学国際文化交流学部)

S21B-3

Nutri-score と MTL への注視行動

アイトラッキングによる分析

○浅川 雅美(文教大学), 岡野 雅雄(文教大学)

8月29日(火) 一般セッション(120分)【C会場】
社会1

座長:

C21C-1 10:00~10:20

スマホ利用時間の意識に影響を与える要因

— ICT利用のライフスタイル研究 —

飽戸 弘(東京大学名誉教授), ○小島 誠也((株)NTTドコモ モバイル社会研究所)

C21C-2 10:20~10:40

ICT機器別に見る利用が高いシニアの特性分析

— ICTモバイル利用のライフスタイル研究—

○水野 一成((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授)

C21C-3 10:40~11:00

コロナ禍前後における友人との交流とICT利活用

— ICT利用のライフスタイル研究 —

○吉良 文夫((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授)

C21C-4 11:00~11:20

マッチングアプリにおける趣味・関心の類似性が外的・階層的魅力に基づくパートナー選択に与える影響

○高野 雅典(株式会社サイバーエージェント)

C21C-5 11:20～11:40

提案型オンラインデーティングサービスの短時間ビデオチャットにおける相手
に対する満足度の構造方程式モデリング
外面的魅力と内面的魅力が総合満足度や連絡先交換可否に与える影響
○北原 洋一(株式会社リブセンス)

10:00-11:00

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】
AI等のテクノロジーが職業に与える影響を如何にして推計するか？

オーガナイザー,司会者,討論者:上野 雄史(静岡県立大学経営情報学部)
討論者:加藤 諒(一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部)
討論者:星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部)
司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

S21D-1

AI等のテクノロジーが職業に与える影響を如何にして推計するか？
:会計専門職の事例を中心としながら
○上野 雄史(静岡県立大学経営情報学部), ○加藤 諒(一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部・理化学研究所 AIP センター), 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

13:00-15:00

8月29日(火) 一般セッション(120分)【A会場】
多変量解析

座長:

C22A-1 13:00～13:20

Independent cluster rotation に関する一考察
斜交回転なのになぜ因子ごとの説明力が定義できるのか？
○村上 隆(中京大学 文化科学研究所)

C22A-2 13:20～13:40

クロス表の SVD および内積による表現と座標変換

グラフ図示による例示

○岡本 安晴(日本女子大学)

C22A-3 13:40～14:00

行列分解モデルを用いた変数選択を伴う因子分析

○嶋田 直也(大阪大学大学院人間科学研究科), 山本 倫生(大阪大学 / 理研 AIP)

C22A-4 14:00～14:20

カテゴリカルデータの項目精選と評価

項目反応理論による検討

○片山 浩子(岡山理科大学)

C22A-5 14:20～14:40

EBPM の観点からみた我が国の新型コロナウイルス感染症関連(COVID19)データ

21 世紀感染症時代への対応

○高橋 義明(明海大学)

8 月 29 日(火) 特別セッション(120 分)【B 会場】

マーケティングにおける行動計量 1

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

オーガナイザー, 討論者: 土田 尚弘(麗澤大学経済学部)

S22B-1

マハラノビスの汎距離と消費者の異質性

○朝野 熙彦(コレクション)

S22B-2

マーケティングにおける各種の汎距離の応用

○後藤 太郎(CCCMK ホールディングス株式会社), ○梅山 貴彦(株式会社クロス・マーケティング)

S22B-3

消費者のパッケージデザインの好みの変化に関する計量分析
コロナ禍を通して消費者のパッケージデザインに対する好みはどのように変化したのか

○小口 裕(株式会社プラグ), 山口 陽香(株式会社プラグ)

S22B-4

消費者の CSR 知覚がブランド評価に与える影響

○土田 尚弘(麗澤大学)

**8月29日(火) 特別セッション(120分)【C会場】
機械学習による不正会計検知とその法的課題**

オーガナイザー, 司会者: 尾碕 幸謙(筑波大学大学院 ビジネス科学研究科)

S22C-1

機械学習による不正会計検知方法の開発

○東海林 和雄(筑波大学)

S22C-2

不正会計検知ソフトウェアの紹介

○金井 伸也(専門学校東京テクニカルカレッジ)

S22C-3

監査手続における不正会計検知ソフトウェアの利用可能性

○中村 亮介(筑波大学ビジネスサイエンス系)

S22C-4

機械学習による不正会計検知についての法的検討

○白石 友行(千葉大学大学院社会科学研究院)

S22C-5

機械学習による不正会計検知についての法的検討——取締役の義務の視点から

○萬澤 陽子(筑波大学ビジネスサイエンス系)

13:00-14:00

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】
シングルケースデザインのメタ分析:ビデオモデリングを用いたシングルケース
研究を対象としたメタ分析の実践

オーガナイザー,司会者,討論者:山田 剛史(横浜市立大学)

オーガナイザー,討論者:高橋 彩(新見公立大学)

オーガナイザー,討論者:登藤 直弥(東京都立大学)

オーガナイザー,討論者:丹治 敬之(岡山大学)

S22D-1

シングルケースデザインのメタ分析

ビデオモデリングを用いたシングルケース研究を対象としたメタ分析の実践

○高橋 彩(新見公立大学), ○丹治 敬之(岡山大学), ○山田 剛史(横浜市立大学), ○登藤 直弥(東京都立大学)

15:20-17:20

8月29日(火) 一般セッション(120分)【A会場】
調査・データ解析 1

座長:

C23A-1 15:20~15:40

学力調査における出題順の正答率に対する影響について

○袈岩 晶(国立教育政策研究所)

C23A-2 15:40~16:00

近隣大学の閉鎖はどのように偏差値に影響するか

ABMと実証分析から

○樊 怡舟(広島大学), 中尾 走(広島市立大学), 康 凱翔(広島大学)

C23A-3 16:00～16:20

主成分分析を用いた共同学校事務室におけるリーダーシップの在り方に関する研究

ー栃木県公立小中学校事務職員全数アンケート調査結果よりー

○大橋 利昭(白鷗大学), 張 承玖(白鷗大学), 船田 眞里子(白鷗大学)

C23A-4 16:20～16:40

職業イメージのグラフィカル表現と進路選択支援への応用

○大森 拓哉(杏林大学)

C23A-5 16:40～17:00

役者絵における容貌の描き方の数量分析:写楽、豊国、春英の作品を対象として

○上阪 彩香(大阪成蹊大学), 村上 征勝(統計数理研究所)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【B会場】

マーケティングにおける行動計量 2

オーガナイザー:中山 厚穂(東京都立大学大学院)

オーガナイザー, 討論者:土田 尚弘(麗澤大学経済学部)

S23B-1

救急搬送データの自損行為より自殺未遂の動向を解析する
性別とCovid-19の影響について

○田久 浩志(国士舘大学救急システム研究科)

S23B-2

顧客満足度分析を応用したビジョン型シナリオの評価法

○井上 勝雄((株)ホロンクリエイト), 伊藤 健世(オリンパス株式会社), 高橋 克実((株)ホロンクリエイト)

S23B-3

デザイン画像と消費者印象の関係性についての定量的分析

○土田 尚弘(麗澤大学), 曾我部 瑤介(ユニ・チャーム株式会社), 小口 裕(株式会社プラグ)

S23B-4

Deep learning を用いたポジショニング戦略のための研究

○中山 厚穂(東京都立大学大学院)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【C会場】

犯罪現象の行動計量

オーガナイザー: 島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部)

オーガナイザー: 齊藤 知範(科学警察研究所)

討論者: 山本 功(淑徳大学)

討論者: 小島 隆也(早稲田大学)

S23C-1

新たな犯罪危害指数としての心理的損害スコア

社会調査を通じた市民による犯罪危害評価と行動選択への影響

○大山 智也(東北大学), 羽生 和紀(日本大学), 谷 真如(内閣官房), 中江 百花(警察庁)

S23C-2

反復被害に影響する要因—一般市民対象の社会調査から(仮)

○鈴木 あい(福島大学 教育推進機構)

S23C-3

同一犯による一連事件の犯行地点分布の偏りの評価

○平間 一樹(科学警察研究所), 横田 賀英子(科学警察研究所), 渡邊 和美(科学警察研究所), 古橋 健悟(科学警察研究所), 大塚 祐輔(科学警察研究所)

S23C-4

高齢者の特殊詐欺被害予防行動に影響する要因の検討

行動経済学的要因と留守番電話常時使用行動の関係を中心に—

○齊藤 知範(科学警察研究所 犯罪予防研究室), 山根 由子(科学警察研究所 犯罪予防研究室), 島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪予防研究室)

S23C-5

縦断社会調査による特殊詐欺被害防止介入の効果検証

—警察官の戸別訪問とコールセンターからの架電—

○島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部), 齊藤 知範(科学警察研究所), 山根 由子(科学警察研究所), 高木 大資(東京大学)

15:20-16:20

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分) 15:20~16:20 D会場
教育課程および大学入学前後の学習経験を考慮した心理統計教育

オーガナイザー,司会者,討論者:山田 剛史(横浜市立大学)

オーガナイザー,討論者:村井 潤一郎(文京学院大学)

オーガナイザー,討論者:杉澤 武俊(早稲田大学)

オーガナイザー,討論者:寺尾 敦(青山学院大学)

S23D-1

教育課程および大学入学前後の学習経験を考慮した心理統計教育

○杉澤 武俊(早稲田大学), ○山田 剛史(横浜市立大学), ○村井 潤一郎
(文京学院大学), ○寺尾 敦(青山学院大学)

8月30日(水)

9:30-11:30

8月30日(水) 特別セッション(120分) 【A会場】
意思決定の心理モデルと行動計量

オーガナイザー,司会者:竹村 和久(早稲田大学文学学術院)

討論者:繁榎 算男(慶應義塾大学)

S31A-1

集団意思決定の数理モデルと計算機シミュレーション

○村上 始(北海学園大学経営学部), 川杉 桂太(早稲田大学教育・総合科学学術院), 玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 井出野 尚(東京理科大学経営学部), 中丸 麻由子(東京工業大学環境・社会理工学院), 竹村和久(早稲田大学文学学術院)

S31A-2

意思決定における眼球運動の画像解析

○川杉 桂太(早稲田大学 教育学部), 村上 始(北海学園大学 経営学部), 藤井 陽一朗(明治大学 商学部), 竹村 和久(早稲田大学 文学学術院)

S31A-3

質問紙による意思決定スタイルの測定と選択行動の検討

弱順序の公理に関する質問項目を用いて

○井出野 尚(東京理科大学), 森井 真広(東海大学経営学部), 玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 竹村 和久(早稲田大学文学学術院), 岡田光弘(慶應義塾大学文学部)

S31A-4

意思決定方略の計算機シミュレーション

○玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 井出野 尚(東京理科大学経営学部), 竹村 和久(早稲田大学文学学術院)

8月30日(水) 一般セッション(120分)【B会場】
調査・データ解析 2

座長:

C31B-1 9:30~9:50

信頼感の日米比較の2次分析

多群潜在クラスモデルによる測定不変性の検討

○木村 邦博(東北大学)

C31B-2 9:50~10:10

一人暮らしと生活満足度の関連について

○李 擎月(東北大学大学院 文学研究科)

C31B-3 10:10~10:30

共感的ネット利用がレジリエンスへ及ぼす影響の縦断分析による再検証

○坂部 創一(創価大学理工学部情報システム工学科), 鎌田 正行(レノボ・ジャパン合同会社), 山崎 秀夫(東京国際大学人間社会学部人間スポーツ学科)

C31B-4 10:30~10:50

特別あて所配達郵便を用いた郵送調査の可能性

日本における住所ベースサンプリングによる世論調査の試行

○齋藤 恭之(朝日新聞社 世論調査部), 渡辺 健太郎(立教大学社会情報教育研究センター 助教)

C31B-5 10:50～11:10

IRT を用いたインターネット調査の回答比率のバイアス補正

○横井 智広((株)日経リサーチ), 光廣 正基((株)日経リサーチ)

8月30日(水)一般セッション(120分)【C会場】

社会2

座長:

C31C-1 9:30～9:50

統計的技法の応用研究の創造性／可能性

測定の等価性／不変性テストの統計的技法に焦点を合わせて

○真鍋 一史(統計数理研究所 データ科学研究系), 前田 忠彦(統計数理研究所 データ科学研究系), 清水 香基(北海道大学大学院文学研究院)

C31C-2 9:50～10:10

若年層の原子力発電利用態度

リスクフォーカスによる変化しやすさの検討

○北田 淳子((株)原子力安全システム研究所 社会システム研究所 社会意識・エネルギー問題研究プロジェクト)

C31C-3 10:10～10:30

エネルギー問題におけるリスク・コミュニケーション

共に考える姿勢が示されることの意味

○夢田 幹宏(株式会社 原子力安全システム研究所 社会システム研究所)

C31C-4 10:30～10:50

複数回答方式における選択個数をめぐる諸問題

橋本 実咲希(横浜市立大学大学院データサイエンス研究科), ○土屋 隆裕(横浜市立大学データサイエンス学部)

C31C-5 10:50~11:10

欠損によるバイアスと測定誤差によるバイアスのトレードオフの検討: 交絡変数の事例

○中尾 走(広島市立大学), 樊 怡舟(広島大学), 康 凱翔(広島大学大学院)

C31C-6 11:10~11:30

複数の調査データを用いた機械学習による不注意回答者検知

○尾碕 幸謙(筑波大学ビジネスサイエンス系)

10:00-12:00

8月30日(水) ポスター発表(120分)

座長:

P01

視覚的情景の類似性判断における n-gram の影響と学習時間

○星野 英一(慶應義塾大学), 皆川 泰代(慶應義塾大学)

P02

どのような条件組合せ群が核兵器保有をもたらすか: QCA によるアプローチ

○藤田 泰昌(長崎大学 経済学部)

P03

Kappa マッチングによる個人のカテゴリカルな主観評価のモデル学習と評価

○熊野 史朗(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 成松 宏美(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 大澤 まゆ子(筑波大学)

P04

不注意回答を含むデータを考慮した項目反応モデルの提案

○清水 友貴(名古屋大学), 石井 秀宗(名古屋大学)

P05

トピックモデルによる時代変化の可視化の試み

ハプスブルク君主国侍従長による 20 年間の日記を対象として

○打田 篤彦(神戸大学大学院人間発達環境学研究所), 山下 泰生(同志社大学グローバル地域文化学部)

P06

大学生のスマートフォン依存傾向とストレス，食物依存傾向の関連性
宇田川 陽秀(文教大学健康栄養学部)，長橋 実紅(エームサービス株式会社 HSS 事業部)，杉野 嘉津枝(文教大学健康栄養学部)，○大橋 洸太郎
(文教大学情報学部)

P07

母親向け情報支援サイトにおける対話の分析
産前産後の感情に着目して
○羽鳥 なの香(青山学院大学経営学部経営学科)，岩永 二郎(株式会社
エルデシユ)，横山 暁(青山学院大学経営学部マーケティング学科)

P08

大規模災害における遠隔地避難者の支援者ストレスとその改善に関する研究
-山形県酒田市を事例に-
○奥山 純子(東北大学病院リハビリテーション科)，門廻 充侍(秋田大学
新学部設置準備担当)，本川 智紀(ポーラ化成工業株式会社)，加藤 朋美
(ポーラ化成工業株式会社)

P09

調査ページごとの回答時間を用いた不適切回答者検知の探索的検討
○北條 大樹(東京大学大学院教育学研究科)

P10

直接質問法と Elaborate Item Count 法の比較
指示項目と回答の一貫性による不注意回答を除外しての検討
○増田 真也(慶應義塾大学看護医療学部)，澁谷 泰秀(青森大学)，村上
史朗(奈良大学)，吉村 治正(奈良大学)

P11

性的満足度の男女別規定要因
NFRJ2008-12 パネルデータをもちいて
○石橋 拳(専修大学大学院文学研究科)，木村 裕貴(東京大学大学院教
育学研究科)

P12

組織階層情報を持つ従業員調査データにおける級内相関係数(ICC)の活用
可能性の検討
○仲間 大輔(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ)，宇野 渉(株
式会社リクルートマネジメントソリューションズ)

P13

多次元項目応答理論における非補償型-補償型の誤特定下での推定分散について

○玉野 浩嗣(総合研究大学院大学), 日野 英逸(統計数理研究所), 持橋 大地(統計数理研究所)

P14

囲選択肢としてのプラン追加を用いた魅力効果についてのフィールド実験研究

pixivFANBOX の売上データを用いた実証研究

○橋本 大河(慶應義塾大学大学院 経済学研究科), 星野 崇宏(慶應義塾大学 経済学部 / 理化学研究所 AIP センター)

8 月 31 日(木)

9:30-11:30

8 月 31 日(木) 一般セッション(120 分)【A 会場】

心理

座長:

C41A-1 9:30~9:50

A Two-Step Robust Estimation Approach for Inferring Within-person Relations in Residual-level Models

○宇佐美 慧(東京大学大学院教育学研究科・教育学部)

C41A-2 9:50~10:10

一対比較型心理測定における順序効果に関する検討

○分寺 杏介(神戸大学経営学研究科)

C41A-3 10:10~10:30

Knowledge Tracing における達成度測定の信頼性係数

○島田 大祐(東京大学大学院 教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

C41A-4 10:30~10:50

二段階マルコフ決定課題における情動刺激介入の思考モード誘導効果について

○長屋 優太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 植月 健太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 山口 勇人(トヨタ自動車株式会社 東富士研究所), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部, 理化学研究所 AIP センター)

C41A-5 10:50~11:10

VRを用いた公共交通機関における混雑緩和のための社会同調ナッジの効果に関する実験研究

○西村 大雅(慶應義塾大学法学部), 植月 健太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 浅川 香(三菱電機株式会社情報技術総合研究所), 陳 薇雅(三菱電機株式会社情報技術総合研究所), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部, 理化学研究所 AIP センター)

C41A-6 11:10~11:30

WAIS データのベイズ的因子分析

○繁榘 算男(慶應義塾大学), 古野 公紀(立命館大学総合心理学部), 上野 一彦(東京学芸大学), 松田 修(上智大学総合人間科学部心理学科), 山中 克夫(筑波大学人間学群障害科学類)

**8月31日(木) 特別セッション【B会場】
多様な非対称データ解析についての研究と応用**

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院)

S41B-1

A complex dynamical system theory of weighted digraph

○千野 直仁(Chino Institute for the Studies of Asymmetry and Chaos)

S41B-2

Two-mode three-way asymmetric multidimensional scaling based on dominance-point model I

○岡太 彬訓(立教大学), 今泉 忠(多摩大学)

S41B-3

Two-mode three-way asymmetric multidimensional scaling based on dominance-point model II

○今泉 忠(多摩大学経営情報学部), 岡太 彬訓(立教大学)

S41B-4

2相3元非対称非類似度データに対する非対称ノルムを用いたMDSについて

○土田 潤(京都女子大学), 宿久 洋(同志社大学)

S41B-5

重複クラスター分析法の非対称データへの適用

○横山 暁(青山学院大学 経営学部マーケティング学科), 岡太 彬訓(立教大学)

8月31日(木) 特別セッション(120分)【C会場】

継続調査と国際比較調査の分析

オーガナイザー, 司会者: 松本 渉(関西大学総合情報学部)

S41C-1

継続調査と国際比較調査の意義と課題

ー地域の継続調査と日米韓の国際比較調査の実践からー

○松本 渉(関西大学総合情報学部)

S41C-2

地域満足度とその規定要因の経時変化

高槻市民郵送調査データを用いた基礎分析

○塚常 健太(岡山理科大学経営学部経営学科)

S41C-3

安全保障政策に対する意識形成要因の国際比較

朝鮮半島核・ミサイル問題の中の日米韓三カ国

○西舘 崇(共愛学園前橋国際大学), ○松本 渉(関西大学)

S41C-4

働き方と社会貢献の関わりについての国際比較

○松本 渉(関西大学総合情報学部)

S41C-5

SDGsと市民社会の国際比較

○角田 弘子(順天堂大学 医学部 衛生学講座)

12:30-14:30

8月31日(木) 特別セッション(120分)【A会場】
心理学におけるモデリングアプローチの展開 V

オーガナイザー,司会者:小杉 考司(専修大学人間科学部)

S42A-1

態度学習モデルを用いた態度測定の妥当性の検討

○清水 裕士(関西学院大学社会学部), 柏原 宗一郎(関西学院大学社会学研究科)

S42A-2

社会学習モデルを用いた態度形成メカニズムの検討

○下川 詩乃(関西学院大学社会学研究科), 柏原 宗一郎(関西学院大学社会学研究科), 清水 裕士(関西学院大学社会学部)

S42A-3

意思決定モデルを用いた攻撃行動生起メカニズムの検討

○柏原 宗一郎(関西学院大学 大学院社会学研究科), 清水 裕士(関西学院大学 社会学部)

S42A-4

他者の協力期待がどのように見積られるか(2)

ーモデルによる検討ー

○三木 毬菜(関西学院大学), 水野 景子(関西学院大学), 清水 裕士(関西学院大学)

S42A-5

SVO スライダー課題を用いた社会選好パラメータの統計モデリングによる推定

○水野 景子(関西学院大学社会学研究科・日本学術振興会), 清水 裕士(関西学院大学社会学部)

S42A-6

混合ガンマ分布による住宅侵入窃盗犯の犯行行程距離の推定

○小野 修一(山口県警察本部科学捜査研究所)

8月31日(木) 一般セッション(120分)【B会場】

マーケティング1

座長:

C42B-1 12:30~12:50

商品カテゴリーの分類と消費者異質性を考慮した非計画購買率の推定

○石橋 敬介(信州大学), 佐々木 舞香(流通経済研究所), 尾崎 幸謙(筑波大学)

C42B-2 12:50~13:10

衝動購買に対する後悔と次回購買へ与える他者の影響

—実験的調査による検討—

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○潘 潔(大阪経済大学経営学研究科)

C42B-3 13:10~13:30

異性交際中の感情およびストレスの衝動購買との関係

—構造方程式モデリングによる検討—

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○李 博(大阪経済大学経営学研究科)

C42B-4 13:30~13:50

オルタナティブデータを用いたマクロ消費動向のナウキャストイング

ATM利用履歴データを用いた計量経済モデルによる商業販売額(小売)の予測

○山田 大河(慶應義塾大学経済学部), 西村 大雅(慶應義塾大学法学部), 富田 侃叡(慶應義塾大学経済学部), 古室 早理(慶應義塾大学経済学部), 栗原 歩美(慶應義塾大学経済学部), 笹渕 陽南乃(慶應義塾大学経済学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部, 理化学研究所 AIP センター)

C42B-5 13:50~14:10

ロイヤルティプログラムにおける誕生日特典の短期・長期的効果の推定及び比較

○西尾 和生(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部)

C42B-6 14:10～14:30

PB シェアはストアロイヤリティを高めるのか？

—COVID-19 前後の日本市場における関係の変化—

○川西 建(株式会社インテージ), 中野 暁(明治学院大学 経済学部)

8月31日(木)特別セッション(120分)【C会場】

世論調査・社会調査の方法論と実践的研究

オーガナイザー: 吉野 諒三(同志社大学)

S42C-1

意識調査における回収層・未回収層のプロファイリング

GSS 信頼感3項目にを中心としたサンプルの社会参画度の考察

○吉野 諒三(同志社大学・社会調査研究センター), 前田 忠彦(統計数理研究所), 鄭 躍軍(同志社大学), 林 文(統計数理研究所), 陳 艶艶(福岡工業大学), 王 喆君(同志社大学同志社大学), 角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

S42C-2

調査データから見た環境意識の特徴

登録モニターWEB調査の試行

○陳 艶艶(福岡工業大学 社会環境学部), 林 文(東洋英和女学院大学名誉教授), 鄭 躍軍(同志社大学), 吉野 諒三(同志社大学)

S42C-3

日本人の消費意識と耐久性の異なる財の選択基準との関連性

○王 喆瑀(同志社大学 文化情報学研究科), 鄭 躍軍(同志社大学 文化情報学研究科), 吉野 諒三(同志社大学 社会調査研究センター)

S42C-4

行動変容のターニングポイント分析

成果連動型民間委託契約方式(PFS)に関する取組

○角田 弘子(順天堂大学 医学部 衛生学講座), 松原 望(東京大学名誉教授)

S42C-5

調査モード間の比較に関する研究

日本人の国民性調査関連研究を例として

○前田 忠彦(情報・システム研究機構 統計数理研究所), 稲垣 佑典(成城大学社会イノベーション学部), 吉野 諒三(同志社大学社会調査研究センター)

12:30-13:30

8月31日(木) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】

多様な非対称データ解析の有用性と適応可能性

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

S42D-1

マーケティングデータ解析における多様な非対称データ解析の有用性と適応可能性についての検討

○中山 厚穂(東京都立大学大学院)

14:50-16:50

8月31日(木) 特別セッション(120分)【A会場】

WAIC/WBIC と項目反応理論への応用

オーガナイザー, 司会者: 鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科 統計数理講座)

S43A-1

渡辺澄夫ベイズ理論の全容

○鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科 統計数理講座)

S43A-2

WAIC や WBIC と学習係数 λ

○車谷 優樹(大阪大学大学院基礎工学研究科)

S43A-3

WAIC や WBIC の項目反応理論への適用可能性

○北條 大樹(東京大学大学院教育学研究科)

S43A-4

項目反応理論における学習係数

○池尻 拓巨(大阪大学大学院基礎工学研究科)

8月31日(木) 一般セッション(120分)【B会場】

マーケティング 2

座長:

C43B-1 14:50～15:10

主観的厚生に影響を与える日常の習慣

食品の利用状況に着目し

○上田 雅夫(横浜市立大学 データサイエンス学部), 白石 小百合(横浜市立大学国際商学部), 中谷 朋昭(東京大学大学院農学生命科学研究科)

C43B-2 15:10～15:30

片づけが買い物意識に与える影響

○吉田 綾(国立環境研究所)

C43B-3 15:30～15:50

Consumer Forecasting における予測の手掛かりに関する考察

○芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

C43B-4 15:50～16:10

革新性および食品リスク敏感性と昆虫食意向の関係性分析

ー構造方程式モデリングによる検討ー

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ONGUYEN DUC TAM(大阪経済大学 経営学部 3年)

C43B-5 16:10～16:30

対人的マルコフ連鎖シミュレーションによる価格受容性推定

○小野 滋((株)インサイトファクトリー)

C43B-6 16:10～16:30

消費財価格変更に伴う購買行動変化に生活者特性・商品カテゴリー特性が与える影響の推定

○篠原 正裕((株)インテージ 事業開発本部 DX部)

8月31日(木) 特別セッション(120分)【C会場】

調査をめぐる環境変化と問題についての検討

オーガナイザー、司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院)

オーガナイザー:大竹 延幸((株)マーケティング・サービス)

討論者:前田 忠彦(統計数理研究所)

S43C-1

登録モニターを用いた3つのオンライン調査の実態

未回収層バイアスの視点からみた非確率抽出調査

○吉野 諒三(同志社大学)

S43C-2

世論調査の品質保持のために:調査実施機関から見るコロナ禍の影響と今後の課題

○小松 香奈江(一般社団法人 中央調査社 調査部)

S43C-3

報道機関が実施する世論調査や選挙予測調査の実態と課題

報道現場からのニーズへの対応と調査精度の確保のために

○渡辺 久哲(上智大学文学部)

S43C-4

オンライン調査における課題の検討

○前川 法夫(楽天インサイト株式会社), 大竹 延幸(株式会社マーケティング・サービス)